



東 京 都 大 田 区 蒲 田 1 丁 目 29 番 8 号
 電 話 (3732) 7821 (代) 合 会
 蒲 田 工 業 協 同 組 合 組 員 人 員 彦
 機 関 編 集 刊 行 所
 東 京 都 大 田 区 中 央 8 丁 目 5 番 1 号
 株 式 会 社

年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合
 理事長 田村知之



新年明けましておめでとうございます。
 組合員並びに木鶏会の皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私ごとではございますが、昨年5月より小林章彦理事長の後任として当組合の理事長を拝命いたしました。前理



謹賀新年
 平成29年 元旦

事長をはじめ諸先輩方が築き上げてこられました歴史ある組合の実績と信頼を踏まえ、当組合のさらなる発展のために全力を尽くしてまいりたいと存じますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。
 昨年は4年に1度の世界的なイベントであるリオデジャネイロオリンピック

クが開催されました。メダル獲得総数は何と41個と前回のロンドンオリンピックの38個を抜き史上最多を更新しました。日本のお家芸である柔道や水泳、レスリングの三種目だけで28個のメダル獲得は素晴らしい結果でしたが、卓球や体操、シンクロナなどの団体戦の活躍が見ている日本人を感動させてくれた大会であったと感じております。それと同様に、当組合員も昨年のサロンでは、それぞれが個人の力を最大限に発揮し、組合員の一人であることに喜びを感じ、その事で全員が結束し、皆が前向きな姿勢で物事を推進していく企業になっていくように感じられるのは本当に喜ばしい事だと思えます。
 また、大田工業連合会青年部も50周年を迎え、各団体の団結力が期待された一年でありました。
 米国の大統領選ではクリントン氏が

新春座談会



司会・明けましておめでとうございます。本日は主に40代の経営者にご出席頂いておりますので、「2017年の経済状況を予測して我が社の経営戦略」これからどういうふうにしていくかについて、新春座談会を進めさせて

目次

「年頭ご挨拶」	①
「新春座談会」	⑤
「組合員だより」	⑤
「業務報告」	⑤
「掲示板」	⑤
「木鶏会々長ご挨拶」	⑤
「木鶏会の活動」	⑤
「年賀広告」	⑦
	⑧

出席者 (五十音順・敬称略)

- 海老名伸哉 エビナ電化工業(株)
- 佐々木毅彦 佐々木発條(株)
- 鈴木 健一 (株)極東精機製作所
- 高原 隆一 (株)弘機商会
- 田村 知之 (株)タムラエンジニア
- 宮澤 章 (株)マサオプレス
- 望月 直人 (有)望月塗工研究所
- 森田 淳士 (株)浩伸技研

頂きたいと思えます。それでは、Hさんお願いします。

2017年 我社の経営戦略

医療及び航空宇宙
 関連品に打ち勝つ！



H：私共の予測では、今年は恐らく昨年以上に良くなるのではないかなと思っております。

司会：それは何故ですか。

H：新しい仕事が増え上がってくるのと、今迄の軌道の所からなかなか新しい物を立ち上げるのに時間がかかったのですが、今年位に立ち上がって来るというのが有りまして、今年は少し期待したいと思っております。

昨年70周年で工場を改装し、新しくした所もあるので、今年71年目は新たな気分です。

そして、産休、育休に入った5人程が、連続して一昨年末から休んでおりまして、5人中、4人が復帰しました。帰って来てくれて良かった、と言うのが、今は何よりも嬉しい事です。

司会：どのくらい産休期間はあったのですか。

H：私共は、産休、育休は半年以内に戻って来て頂ければ、40万円をお支払いしております。1年で20万円という事です。4人中2人は半年以内に帰って来たので、40万円をお支払いしました。

司会：最高で産休は1年半、それとも2年でしたか。

H：それ位はあるのですが、技術者なので、早く戻って来て頂ければ、会社でサポートする、その様な制度を一昨年会社で設けました。

A：今年来そんな仕事とはどのようなものですか？

H：抗菌メッキです。ヘルスケアの分野で、いよいよ量産も本格的に始まるのではないかなと思っております。

今迄我々はITが主でしたが、これからヘルスケアに重点を置いて、医療の分野に進出することが、変革の第一歩だと思っております。今年はその期待しております。

司会：ありがとうございます。良い方向ですね。

では、次にFさんお願いします。

F：今年是我社に、メーカーさんの方から昨年行っている物量の倍位の情報が、幾つか入ってきています。それに対して、

協力会社は年配の方が多いので、急に辞められると困るので、助成金を活用して旋盤の複合機CMCを一台購入しようと考えております。内製化することでは無いのですが、恐がらずに流れているモノを確保して行きたいと思っております。機械が入ったら操作が出来る様に皆で勉強をして、仕事を逃さないようにして行こうと思っております。

昨年の秋頃から取り掛かっている仕事は、かなり物量が多いので、その分支払いも多くなるから今、一生懸命取り組んでいる最中です。

司会：どの様な部品ですか？

F：半導体の真空装置の部品です。半導体関係が相当動いて来ているので、それに対して応えられる様な設備にしたいと考えている所です。

それで人材の確保が必要になり、4月に加工が出来る女性が、1名入社予定です。現在、鋳金屋さんに勤めていて、CADも出来ますから、三次元CADのデータなども作れるように考えており、戦力になればと思っております。

A：設計もするのですか？

F：設計ではなく普通の加工プログラムを作って、機械を動かすという事です。

B：旋盤の経験者ですか？

F：経験は有りません。ゼロからの教育になるかと思っております。

今期の目標売上は、新しい顧客先やメーカーさんとの取引が増えてきているので、いかに良い仕事を取れるか、捌ける

かが勝負です。2割位アップ出来たらと思っております。

司会：半導体系が少し動き始めているのですか？

F：うちは装置部品が多いので、装置が売れないと、仕事が無いよという状態です。装置自体の納品先は多分、韓国だと思っております。

司会：韓国は今、サムスンの影響で国事態がまずい事になっていっていると言いますが、それを張って置いて行きたいという事ですね。

F：その情報も入って来ます。装置自体が、サムスンに納める装置ですが、スマートフォンとの装置とは違うみたいですね。納め先がサムスンとなれば、会社自体が今、ニュースになっていますから、色々な影響が出てくる可能性があるのでは、警戒して行こうと思っております。

B：恐らく、フラッシュメモリーでしょう。

F：そうですね。それが無ければいけないので、むしろ捌き切れない域になっていきますから、頑張っていこうと思っております。

司会：ありがとうございます。では、Aさんお願いします。

A：当社の2016年までは、自動車業界が大体6割以上の中で商売をさせて頂いていますが、今は数字的には良くないです。ただ、そうは言っても、売上の半分は以上占めていますので、そこはしっかりと、昨年までに代理店を築き、更に、店

舗センターを昨年作りましたので、自動車については、いかに競合とのシェアを獲得するか、差別化するか、又、新規の顧客を獲得かをやって行こうかと思っております。電気、電子部品関係も、自動車とほぼ似たような所があつて余りぱつとしません。

今年の抱負は、Hさんの所と少し通ずる所があるのですが、医療関係が我々の調査だと大体年率5%成長するだろうと、見ております。

ですから、我社の既存の技術を生かせ、競合との差別化が出来る市場であると見ておりますので、医療産業向けに新たな設備を開発して作る、という準備を今、しております。この準備は開発が伴って

きますので、ここは大田区の新製品開発補助金を昨年取りましたので、それを活用しながら今春に医療産業に特化した新しい機械を設計、開発中です。作る所までは出来ませんが、後はそれをどうやって市場に導入して行くかが大きなポイント

です。各医療メーカーに営業をかけて情報をもらつたりしています。医療機器はほとんどが手作業で、モノによつてはもの凄く小さくて機械化が難しかったり、職人の技術が必要で、手で叩いて曲げたりしている部品があります。

そういった所を今度、我々の開発するもので、ある程度機械化できる用途がたつておりますので、医療部品メーカーと一緒に新製品開発をやつて、新製品化の目標を持って行きたいと思っております。

司会…基本的に今年度は開発を主にやって行こうかという事ですか。

A…そうですね。今は状況があまり良くないので、そこを踏ん張る事と、このまま同じ事をやっても良くないのが分かってますから、開発を今この状況で未来に向けた投資をやつていこうと思つてます。

C…カシメ機以外という事ですか。

A…いや、自分達の得意分野でやって行かないと勝てないので、競合がまだ開発に及んでいないような、小さい領域のものを今、やろうとしています。先行利益がありますから。

今、医療向けはそれほど大きい訳ではないので、先行して行きたいと思つています。

司会…補助金はいくら位大田区から出るのですか。

A…500万円です。

司会…カシメ機業界は頭打ちで、ここからどういう道に行くのかがポイントですか。それとも、そんなことは無く、掘り下げて行けばまだまだ行けますか。

A…カシメ市場は結構大きいのです。これが広がる事は余り無いと思いますが、今の有る市場をどれだけシェアを広げて行くか、これだけでも我々中小企業が大きくなれる位のパイは持っています。

司会…ありがとうございます。ではE社長お願いします。

人材の確保と育成

E…うちは過去2年、ものづくり補助金を

利用して、1000万、1500万円と投資しましたが、その機械が動いてないのです。何故かと申しますと、人の問題です。今年はものづくり補助金はしません。とにかくいい人材がきてもらえようように色々な所に声掛けをしています。

B…税金の無駄遣いじゃないか。機械が動いてないっておかしいだろう。

E…今迄、長期計画とかは絵に描いた餅だと思つてやらなかつたのですが、やつた方がいいという事で、それを見ることで5年後の自分の会社をイメージしています。希望としては20人以下で、売上が5、6億円あればいいというのが目指しております。そこで、ものづくりが楽しめれば、という事でやって行きたいと思つています。その5年の間にそうするにはどうしたらいいのか。先ず人材です。今迄は父ちゃん、母ちゃん会社だったものから、会社らしくできれば、組織として、それを先ず固めようと思つています。

仕事の方は、辞めていってしまつとか、潰れていってしまつとか、こここのところ急激に多くなつて来たので、そこで、お客様としてはうちでやって欲しいニュアンスで持つてくるのですけど、うちが高い事はわかっているのですが、どこかやってくれる所はないですか、との言い方をするのです。ですが、それをもう少し時間の問題でやる所がなければブーマン式に戻ってきます。

A…今、人材はどうやって集めていますか？

E…Aさんご紹介の日本工学院の新卒で

す。新卒なので、ワーカーとしてどこまで出来るのか、会社を引っ張ってくれる様な人を望んでいますので、面接では、専攻をきちんと選んで行こうと思つています。

A…デュアルシステムですか。

E…デュアルシステムの生徒は来ていますが、決めつけてはいけません。やつて貰つて良ければ、上を目指してもらえばいいのですけど。

司会…うちも今年は一入社しますが、やはりコミュニケーションがとれない若者が今は増えていきますね。コミュニケーションが取れないと基本的にお客様と話しができない、報告書も書けない、プレゼンも出来ないから、やはり大学に行つたほうが、勉強とか遊びを通して、コミュニケーションの力がついてくると思つています。その辺の差が少し出てきてしまうのかも知れませんが、頭の云々とは別にして、H…大学生でもコミュニケーションを取れない人は取れないですよ。

G…でも比較的大卒の方が、いいでしょう。H…人としてはあまり変わりないですよ。その資質は、専門性のある所の知識という所では、大卒の方がいいかも知れま



せんが、人間性はちよつと違いますよね。
 A…即戦力の話しになれば中途採用の方がいいのかな、という話しも有りますね。
 E…その方が前の会社で何をやってきたか、そして辞めた理由ですね。

司会…Hさんの所では、人材で苦労されていることは結構あるのですか。人数がおりますので。

H…中途採用の方は結構、癖がありますね。司会…やはり、新卒の方がどちらかと言うと使い易いですか。

H…ただ、新卒だと金太郎飴みたいになつてしまうので、そこはどういうふうに対応性を出すか、というのが大事なかなと思います。

司会…ありがとうございます。ではGさんお願いします。

G…うちから外注に出している所は、一人で職人的な仕事を手加工でやっている会社は、急激に減っていますね。どこの業界もそうですが、御多分に洩れずバネ業界もそうです。

日本の景気もあまり良くなかったというのもあって、量産品は海外、特に東南アジア、メキシコ等に行っていますね。が、バネ業界も同じです。今迄、おじさんがやっていた職人仕事、これはどうしても日本に残ります。

今、若手の20代、30代前半位の現場スタッフを、今迄機械しかできなかったのを、手加工をやるように仕向けたのです。そうしましたらこここの所、手加工の仕事が集まり出してきました。原点復帰という

のでしょうか。

司会…加工料は結構とれますか。

G…取れます。量産の仕事は他社との競争があるので、構造的に儲からないようになつていますが、手加工は誰にでも出来るものではないですから、結構いい単価です。勿論、量産があつて、おまけでそれをやっているという事です。売上の8割位が量産の仕事なので、2割の手加工品というのは、かなりの利益率があります。

E…手加工ってどのような。

G…色々あります。押しバネ屋の生産で、昔ながらのやり方で、数が少ない試作品をやっています。単なるバネの加工では無くて、線の加工、複雑な形状にするとか、そういった仕事が多結構多いですね。昨年若手に継承することを進めています。

今度、営業を一人採用しました。24歳で。面接ではコミュニケーションや事務処理の能力で採用しましたが、結果的に大卒だったので。現場は全員高卒です。今後も高卒を進めて行くかなと思つています。

司会…状況は悪くないのですか。

G…ここ2年は赤字でしたけど、量産も上向いてきたのと、手加工の仕事が徐々にきていますので、今年度から結構良くなり、これが多分、続くのではないかと思います。潰れてしまったからやめて欲しいというような問い合わせがありまして、結構うまみのある仕事です。日本の

量産は知れたものですが、何万個という量産は海外でやります。

そんな事を考えております。

A…手加工は何の業界のバネですか？

G…例えば、機械メーカーや、航空関係です。一般的に皆に知られていないようなモノが比較的多いですね。隙間産業的な仕事です。下支えをしているようなメーカーです。

司会…ありがとうございます。それでは最後にCさんお願いします。

C…うちは、ハンドメイド職が強い仕事です。前、辞めていく従業員が多いです。前の期と今期まで赤字だったので、現状は少し良い状況にきているので、来期は黒字になるだろうと思つています。

人材的には伯父が辞めてしまったので、一人補充しなくてはいけないのと、ハンドメイド職の強い会社は職人的仕事ですから、何年か勉強しないとできませんので、今後は従業員に対して、しっかりと人材育成していきたいと思つております。

今後の仕事の流れは、先程言っていた医療機器の話もあつたのですが、小ロットで他社がやらないような仕事と、数が少ないモノをずうっとやってきたので、コストのある程度高い値段でとれたのですが、ここに来て、例えば10個でやっていたモノが2個になつたりしたので、価格を変えないといけないので、交渉をしました。やつとそれが終わり、利益がでるようになりまして。後、好調なのは監視カメラです。まだこれからも売上が増える

と思います。屋外の監視カメラはほとんど塗装も含めて海外で生産されています。



屋外用はどうしても雨とかで濡れるので、塗装のスペックが厳しいので、ずっとそれをやってきた実績があるので、引き合いはあります。数はそんなに多くはないですが、空港とかセキュリティの強い場所です。モノはかなりスペックも高いし、数も少ない、そういう所を狙つてとにかく仕事を受けようと思つています。それと環境塗装については、医療機器の試作などは環境に漬くうるさいのですが、トライしようと思つています。

もう一つは、辞めていってしまう会社の仕事は安くてできないと思つていました。が、どの様な仕様でどの様に使うのですか、と聞いてみると、他所では安い値段でやっていましたというスペックを見ると、そこまでしなくても、このようにすればできますよ、という提案をして、少しコストを落としても利益が出るので、仕事に繋げる方向に持つて行きたいと思つています。

司会…今迄はそんなに良くはなかったですが、2017年は良い方向に行くのではないかとどう思つてますか。どの位ですかね。2割アップ位でしょうか。

C…そうですね。できれば4割位上げたいのもありますけど、実際の所、2割位はアップするのではないのでしょうか。司会…今回出席した当組合員の40代経営者

業 務 報 告

の皆様は、大変ポジティブで前向きな考え方をしているのです、2017年の経営は良い方向に行くのではないのでしょうか。もしかしたら、苦しんでいるのは大手企業かも知れません。良いものづくりをする中小企業が減少していて、今、生き残っている所が最終的に強くなっているのかなど、話しを聞いていて感じました。人間も企業も最後まで生きる。とにかく生きて、生きて、やる事をしつかりやって行けば未来は明るい方向に向かって行くのではないかと思います。



計 報

千葉 智子様
太産工業株式会社 代表取締役 千葉 泰常氏のご母堂 千葉 智子様はご逝去されました。
謹んでご報告申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

代表者変更

ティヴィバルブ株式会社
新代表者 竹内 康晴氏

一月十三日

1 新春講演会

講師 麗澤大学 教授 八木 秀次氏

テーマ 2016年、日本の行方

2 新春賀詞交歓会

四月二十二日

常任理事会

1 平成二十七年事業報告・決算報告・剰余金処

分案承認の件

全員異議なく承認

2 平成二十八年度事業計画案・収支予算案承認

の件

全員異議なく承認

3 平成二十八年度借入最高限度額決定の件

一 組合員に対する貸付最高限度額決定の件

手数料最高限度額決定の件

全員異議なく承認

4 役員報酬決定の件

全員異議なく承認

5 任期満了に伴う役員改選の件

全員異議なく承認

6 労働保険事務組合事務処理規約変更の件

全員異議なく承認

四月二十二日

理事会

議題は常任理事会上程のもの

全員異議なくこれを承認

五月十七日

1 平成二十八年度通常総会

可決事項全員異議なく諒承

2 講演会

講師 ジャーナリスト 高山正之氏

テーマ「日本人はなぜ国際事件が読めないのか」

3 懇談懇親会



蒲田工業協同組合通常総会

六月十四日

常任理事会

中央会全国大会について

全員異議なく承認

七月二十一日

定期健康診断の巡回

八月四日

懇親会

場所 がんこ 蒲田店

九月十三日

常任理事会

1 賀詞交歓会の件

2 工業蒲田の件

3 おおたオープンファクトリーの件

全員異議なく承認

十月十一日

常任理事会

オリックスグループの件

全員異議なく承認

十月十二日

座談会

2017年の我社の経営戦略

場所 レストランオギノ

十一月八日

常任理事会

1 賀詞交歓会の件

2 組合総会の日時及び講師の件

3 グループ保険（団体定期保険）の取扱いの件

全員異議なく承認



年末・年始事務取扱のお知らせ

年末・年始の組合事務局の事務取扱日は

左記の通りとさせていただきます。

記

年末 十二月二十八日（水）まで

年始 一月五日（木）から



木 鷄 会 々 長 ご 挨拶



会 長
高 原 隆 一

平成 29 年の新たな年の訪れを謹んでお慶び申し上げます。

木鷄会会長を再任してから最後の任期となりました。新年を迎えるにあたり、会長として取り組むべき木鷄会の方向性について、一言申し上げます。

まず勉強会「定例経営サロン」につきましては、会員相互のコミュニケーションをはかると共に、正しい知識を身につけて経営判断に役立ててほしいとの願いから今後も精力的に推し進めていきたいと考えております。

経済産業省がこれからの成長戦略には、中堅・中小企業が生み出す、付加価値が高く、ニーズに合った少量生産・サービス提供の実現を掲げています。

その為には、世界から見た日本経済、日本経済の中での大田区工業会の在り方を広い視野で洞察できる経営者が必要です。

昨年は若年層の会員も増加傾向にあることから、皆さんには経営者としての総合力を身につけてもらいたいと考えています。企業価値を高め、世界と勝負できること

それらは、現場において自分で判断し、行動につなげ、リスクを考え、外へチャレンジすることです。

そのサポートの一端として、木鷄会先輩方の経営哲学の伝承や、また、メンバーや専門家による工業会の現状を把握すること、ひいては世界のマーケットを学ぶことによつて、優れた経営者になる手助けができればと考えております。

考え方や価値観は皆違います。違うからといって閉鎖的になるのではなく、コミュニケーションによってビジネスの成功につなげてこそ、グローバル化にに対応できる経営者の姿ではないでしょうか。また、そういった人間を会社内で育てていくのも、経営者の責務であると思います。

今年も一層の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、本年も皆様のご健勝とご活躍を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

元旦

木 鷄 会 の 活 動

二月九日

正副会長会議及び定例経営サロン

1 平成二十七年決算報告について

2 平成二十八年度予算案について

3 役員改選について

全員異議なくこれを諒承

2 定例サロン 宮澤章氏担当

三月九日

木鷄会通常総会

1 木鷄会総会

2 講演会

講師 帝京大学経済学部教授 黒崎誠氏

テーマ 今後の日本経済と中小企業経営

3 懇談懇親会

四月十二日

定例経営サロン 高原会長担当

四月二十日

大田工連青年部連絡協議会総会

五月十日

定例経営サロン 鈴木亮介氏担当

五月二十八日

懇親ゴルフ会開催

六月十四日

場 所 木更津ゴルフクラブ

六月二十八日

定例経営サロン 奥山隆行氏担当

納涼サロン

会 場 よろにく

七月九・十日

大田工連青年部連絡協議会引継ぎ研修会

場 所 鬼怒川

七月二十二・二十三日

工場見学

場 所 (株)金羊社御殿場工場
静岡県御殿場市



工場見学

八月二十四日

大田工連青年部連絡協議会納涼会

九月十三日

定例経営サロン

講師 愛知淑徳大学 真田幸光教授

テーマ 欧州情勢を中心とする世界情勢を俯瞰する

十月十一日

定例経営サロン 荻野茂氏担当

十一月八日

定例経営サロン 志村政彦氏担当

十一月十二日・十三日

大田工連青年部連絡協議会大田フェスタ

十一月十九日・二十三日

大田工連青年部連絡協議会 海外視察会

場 所 ベトナム展示会視察及び商談会

十二月十三日

忘年会

十二月二十一日

大田工連青年部連絡協議会忘年会

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



蒲田工業協同組合

(五十音順)

尼寺空圧工業株式会社

尼 寺 実

株式会社新井久四郎鉄工所

新 井 陽 一

イーター電機工業株式会社

山 本 浩 之

有限会社梅津精機製作所

遠 藤 浩 樹

有限会社エステー精工

佐 川 光 太 郎

株式会社エヌエスシー

村 岡 純 一

株式会社NCネットワーク

内 原 康 雄

荏原工業株式会社

長 井 俊 樹

エビノ電化工業株式会社

海老名 伸 哉

株式会社エフエス

古 岡 正 之

株式会社大谷造機所

大 谷 文 雄

岡田钣金株式会社

増 田 道 造

金勝産業株式会社

金 勝 恒 男

有限会社川村製作所

川 村 有 史

株式会社気球製作所

豊 間 清

株式会社極東精機製作所

鈴 木 健 一

有限会社京浜プレス工業所

齊 藤 喜 久 雄

株式会社弘機商会

高 原 隆 一

株式会社浩伸技研

森 田 淳 士

佐々木発條株式会社

佐 々 木 毅 彦

産業医・医学博士

佐 藤 精 一

株式会社三栄精機工業

今 田 悠

株式会社三協アルマイト

岩 崎 登 喜 雄

株式会社志村精機製作所

志 村 政 彦

第一金属工業株式会社

菅 谷 義 弘

太産工業株式会社

千 葉 泰 常

大志工業株式会社

沖 山 裕 夫

謹 賀 新 年

蒲田工業協同組合

(理事五十音順)

顧 問 西ヶ谷 勝美

相 談 役 大 谷 文 雄

理 事 長 田 村 知 之

副 理 事 長 望 月 直 人

副 理 事 長 高 原 隆 一

専 務 理 事 長 長 井 俊 樹

相 談 役・理 事 長 増 田 道 造

相 談 役・理 事 長 荻 野 茂

常 任 理 事 長 飯 室 肇

常 任 理 事 長 鈴 木 健 一

理 事 長 岩 崎 登 喜 雄

理 事 長 海 老 名 伸 哉

理 事 長 加 藤 進 弘

理 事 長 齊 藤 喜 久 雄

理 事 長 菅 谷 義 弘

理 事 長 竹 内 榮 多

理 事 長 鳥 海 保 男

理 事 長 野 口 広

理 事 長 宮 澤 章

監 事 長 佐 々 木 毅 彦

監 事 長 森 田 淳 士

事 務 局 長 沢 登 正 彰

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



蒲田工業協同組合

(五十音順)

大進精機株式会社

宮田 正広

大成工業株式会社

鎮目 哲郎

株式会社瀧口製作所

古田 茂樹

株式会社タムラエンジニア

田村 知之

株式会社タンケンシールセーコウ

山内 祐二

ティヴィバルブ株式会社

竹内 康晴

株式会社寺岡精工

寺岡 和治

東亜株式会社

小柳 優

株式会社東京精密器具製作所

西ヶ谷 邦夫

株式会社東京ハードフェイシング

吉田 裕二

同和発條株式会社

川嶋 治彦

有限会社巴精工所

武市 孝雄

株式会社鳥海製作所

鳥海 哲司

株式会社中谷機械製作所

中谷 和彦

永森電機株式会社

永森 忠臣

南旺工業株式会社

林 隆史

株式会社日産電機

中村 國男

株式会社日章機械

小林 章彦

日新電気株式会社

奥山 利行

日本チエン・ギヤ
無段変速機株式会社

加藤 進弘

株式会社羽田パイプ製造所

野口 広

有限会社早崎製作所

早崎 吉春

深尾精機株式会社

中井 富士夫

有限会社富士精機製作所

荻野 茂

株式会社富士テクノマシン

飯室 肇

富士馬鋼業株式会社

宮川 栄一

株式会社藤原製作所

藤原 康明

株式会社文化精工

桑原 秀樹

細田工業株式会社

細田 俊男

株式会社マコメ研究所

沖村 文彦

株式会社マサオプレス

宮澤 章

有限会社松原精機製作所

松原 栄一

株式会社松原製作所

松原 一喜

丸中金属有限会社

八巻 孝之

株式会社みずきアセット

プランニング

平間 聡

三津浜工業株式会社

富岡 恵子

有限会社望月塗工研究所

望月 直人

有限会社師岡鋳金製作所

師岡 正雄

株式会社リクス・ワークス

藤田 幸二



HACCP 高度化基準認定工場

となんのお料理をどうぞ

都南工業給食協同組合

大田区南六郷三十一番五―一

TEL 三七三二一七四五―(代)